

ジェンダーギャップ解消に関する意見交換会を開催

意見交換会

女性にも働きやすく働き場がある職場を増やし、職ンダーギャップ解消につなげることをテーマに、意見交換会を10月28日に東京都内で開催しました。

意見交換会では、市の紹介映像の放映、中貝市長とタレントでエッセイストの小島慶子さんの対談、豊岡の取組み紹介に続き、女性のジャーナリスト、メディア関係者、研究者10人が加わり、多様性を受け入れ支え合うリベラルなまちづくりなどについて話し合いました。

市の取組みでは、中貝市長が「本市のジェンダーギャップ解消の取組みはまだのろしを上げて始まったばかり。一歩ずつ前に進み成功事例を作っていくたい」「ジェンダーギャップ解消の度合いと女性の定着との関係性をきちんと

理解し、地方はもつと危機感を持つべき」と話しました。

小島さんからは「演劇的手法を用いたコミュニケーション教育をジェンダー教育にも活用してはどうか」「市の取組みが共感を得て実を結び、ジェンダーギャップ解消が日本の地方でさらに進めば、地方に移住する女性も増えていく」などの提案がありました。

出席者から出された主な意見

- ・女性の人口移動などのデータを読み解き、最大の課題だと認識できるかどうか
- ・まちの存続の別れ目
- ・ジェンダーギャップ解消は男性にとつても選択肢を増やすなど自由度を上げる
- ・豊岡で取り組んでいるプチ勤務(少日数・短時間勤務)は女性にも事業所にも良い取組み。がん治療中の方など男性も含めて有効ではな



▲活発な意見交換

い

最後に「男性の市長がジェンダーギャップの問題を分かりやすく情報発信することで多様な方々に共感され伝わりやすくなるので頑張つてほしい」と励ましの言葉もあり、活発な意見交換会は閉会。2020年度に予定するジェンダーギャップ解消戦略(仮称)策定に向け弾みがつきました。

(注)ジェンダーギャップ：性別による男女間の格差
《問合せ》ワークイノベーション推進室 ☎21-9004



第4回 暖かい部屋づくり

こたつ要らず!? 暖かい部屋づくり

部屋が寒くて、こたつから出られない季節。暖かい部屋づくりの極意は、部屋の熱を逃がさない事です。

家の中で最も熱が出入りするの、冬も窓。断熱シートを貼る・複層窓にする・厚いカーテンにする等、まずは熱が逃げない窓づくりから始めましょう。もちろん、電気代削減に直結します。

また、エアコンも効果的に

地球温暖化を防止するため、身近な環境問題と家庭でできるエコ活動を紹介します。

《問合せ》コウノトリ共生課 ☎21-90017

活用しましょう。実は近年、省エネ力がぐんと高まっているので、空気の入替えが必要な燃焼式器具よりお薦めできます。暖かい空気は軽く天井にとどまりがちなので、送風器具と併用しましょう。

シーリングファンなどの代わりに活躍するのは扇風機。斜め上に向け送風すると、対流が起きて暖かい空気が天井から降りてきます。

入浴後の暖かさを生かす方法もあります。湯船にお湯を張ったままドアを少し開け、離れた別部屋で排気してみましよう。湿度の高い空気が少しずつ移動し、室内の加湿もできます。

寒さの我慢は血流を悪くし、健康にも悪影響。ちよつとの工夫でぬくぬく、笑顔の冬を過ごしましょう。
(文 暮らしのエコをすすめる但馬の会)

